

本日の議論のポイントと進め方 について

令和3年9月7日
内閣府 地方創生推進事務局

- I. 都市再生の取組やデータ活用事例に関する各自治体からの発表を踏まえ、都市再生におけるデータ活用の現状や課題について把握・共有頂きたい。

- II. 当該WGの検討項目において、今後考慮すべき事項や反映すべき考え方、評価項目の方向性について議論をお願いしたい。

都市再生におけるデータ活用推進WG

○ WGの位置づけ

都市再生有識者懇談会における提言を受け、「都市再生推進に係る有識者ボード」の下に当WGを設置する。

○ 目的

働き方の変化やデジタル化の進展、脱炭素社会の早期実現など、めまぐるしく変容する都市を取り巻く環境において、柔軟かつ機動的に都市再生を進めていくため、既存の統計データ等の更なる活用に加え、人流や消費活動などのいわゆるオルタナティブデータ等を積極的に活用し、都市活動の推移や地域ごとの比較などを踏まえた都市再生のPDCAや民間投資の呼び込みを促進するためのデータ活用について検討する。

○ 検討内容

① 都市再生におけるデータ活用の方向性

・都市再生におけるデータ活用を進めるにあたって必要となる観点の共有

（データの利活用により期待できること、最近取得・活用できるようになったデータ、自治体で容易に取得・活用可能か、都市評価のトレンド、データ活用の阻害要因 等）

② 都市再生緊急整備地域の評価制度の改善

・都市再生評価制度の考え方の整理（地域指定継続・解除の考え方や評価指標の活用の仕方等）

・都市再生の指標、運用方法の検討（全国一律指標および地域別指標、目標設定、更新頻度、エリア、分析方法 等）

・指標案、運用案を踏まえたトライアルの実施

※指標の検討に当たっては、自治体での活用を前提としながら、オルタナティブデータも含めたデータ活用を積極的に検討する。

※現行評価制度の考え方は継続しつつ、都市再生の推進にあたり適切なPDCAを実施するための「地域整備方針」、「都市再生の効果」に関する評価や民間投資を促進する指標や運用方法のあり方を検討する。

③ 都市再生の計画策定等におけるデータ活用事例の検討

・各都市におけるデータ活用事例の収集（各都市の課題に対し、自治体独自で課題解決に取り組んでいる事例）

・優良事例を選定し、事例集の作成や新指標としての活用も検討。

・人流データや3D都市モデルとの重ね合わせ等も検討。

・（可能であれば）オルタナティブデータを活用し、全国の都市活動や都市間連携を分析。

各自治体の発表を踏まえ、自治体におけるデータ活用に関する取組事例や課題について、ご助言等頂きたい。

例えば、

○札幌市の取組について

- ・札幌市内では、2030年に向けて再開発がピークを迎える予測となっている。
- ・データを利活用することで、再開発の進捗に伴い新たに発生しうる課題等について、事前に想定することは可能か？

○豊島区の取組について

- ・ウォーカブルなまちづくりを目指すにあたり、地域内の公園の回遊状況や歩行者の滞在時間等を収集し、分析している。
- ・今後、より詳細に分析を行うにあたり、来訪者の「属性」や「消費行動」等も把握したいと考えているが、予算も限られている中、こういった分析手法が望ましいか？

○広島市の取組について

- ・地域経済の活性化を目指す中で、観光消費額の増加に寄与する滞在時間の拡大に取り組んでいる。
- ・滞在時間を拡大していくためには、緑や親水空間の増加など、都市景観のアップデートが必要と考えているが、都市景観のアップデート効果を定量的に示すためには、どのようなデータをどのように利活用することが適切か？

前回のご議論を踏まえた評価制度のあり方（案）について

前回のご議論を踏まえて、都市再生緊急整備地域の評価制度のあり方について、下記の通り整理したが、各自治体からの発表を踏まえて、改めてご意見を賜りたい。

都市再生緊急整備地域の評価制度のあり方（案）

○ 都市再生の目的

- ・都市再生の目的は、都市の国際競争力や生産性、快適性、レジリエンスなどあらゆる都市機能を向上させることで、国民生活の向上や経済の活性化等を目指すことにあるとともに、都市を取り巻く環境が激しく変化するなかで、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組み、**QOLの向上やSDGsの達成**も重要な観点となっている。
- ・ただし、各都市が一律的に同じ目標やビジョンを目指す必要はなく、**都市が各々の特性を活かしながら特色ある都市を目指すことが重要である。**

○ 都市再生緊急整備地域における評価目的

- ・①当該地域における**都市再生の拠点としての取組内容を評価すること。**
- ・②都市の**アップデートやマーケティング、プロモーションに活用すること。**

○ 評価項目の対象範囲

- ・ **評価項目、指標ごとに応じて適切なエリアを柔軟に設定**する。

○ 評価頻度

- ・ データ収集やモニタリングの頻度は**データ項目ごとに柔軟に設定**する。
- ・ 都市再生緊急整備地域の**継続・解除の判断については、従来通り5年に1回**とする。

○ 運用方法

- ・ **地域間比較が必要な項目は共通指標、各地域の特色やビジョンに資する取組に関する項目は選択指標**とする。
- ・ 都市再生のPDCAを実践していくため、各自治体にて目標値を設定する。

	日時	WGテーマ	主なスピーカー
第1回	8月3日(火) 9時30分～11時30分	・WGの趣旨、会議の進め方 ・都市再生における効果的なデータ活用について	内閣府
第2回	9月7日(火) 10時00分～12時00分	・各都市における都市再生の近況と効果検証事例の紹介 ・評価制度の考え方	札幌市さま 豊島区さま 広島市さま
第3回	10月12日(火) 10時00分～12時00分	・民間企業における事業進出地域の判断基準について	ゲストスピーカー (調整中)
第4回	11月17日(水) 13時00分～15時00分	・オルタナティブデータの活用事例紹介	ゲストスピーカー (調整中)
第5回		・トライアル結果報告 ・評価運用素案の提示	各自治体さま 内閣府
第6回		・最終指標の決定報告	内閣府

WG		評価制度の改善	データ活用事例検討	
6月		指標素案の作成	3自治体データ活用事例の整理	
8月	第1回	指標検討に関する基本的な考え方について	↓	データ活用事例ヒアリング様式作成
9月	第2回		3自治体のデータ活用事例発表	都市再生緊急整備地域へ事例ヒアリング (アンケート)
進捗状況に応じて調整	第3回	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">指標 修正</div> (ゲストスピーカーによる発表)		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ</div>
	第4回	(ゲストスピーカーによる発表) 適切な指標について委員会にて議論		好事例を5～10事例選定し共有
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">指標 トライアル</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">詳細 ヒア</div>
	第5回	3都市で指標トライアル報告 運用方法の素案を議論		事例集作成
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">詳細 まとめ</div>
	第6回	最終指標の決定		事例集の報告
年度内取りまとめを目標				